高温対策緊急情報 No. 1

令和６年７月 31 日
新潟農業普及指導センター

８月２日から最高気温が 34℃以上となる日が続く予報となっています。

コシヒカリはこれから出穂期を迎えます。

飽水管理を徹底し、イネを高温障害から守りましょう。

〔気象の見込み〕

新潟地方気象台が7月 31 日5時に発表した「2週間気温予報」では、8 月2～11 日の最高気温は 34～35℃、最低気温は 25～27℃と平年に比べ 2～3 度高いと予報されています。

〔当面の管理対策〕

◎　管内のコシヒカリの出穂は８月２日、新之助は８月 13 日と予想しています。

◎　早生品種も含め、イネは最も水分を必要とする時期となっており、飽水管理を徹底しましょう。

◎　こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら水口を止めてください。また、長期間の湛水は根の機能低下を招くので避けましょう。地域の用水の供給状況を確認して、地域全体に用水が行き渡るよう心掛けましょう。

◎　コシヒカリ後期栄養対策として、追加の穂肥が未施用で、葉色の淡いほ場は、追加穂肥を施用しましょう（詳細は７月 30 日発行「稲作情報 No.８」を参照）。

※農作業は高温時の日中の作業を避け、熱中症対策を万全に作業を行いましょう。